



本日、尼崎サポートセンター所長に携帯電話使用に関する注意点について講話していただきました。対象は二年生だったのですが、大事な内容ですから一年生にもいつか機会をつくれます。私はこのテーマが常々気になっており、先月の朝礼でも話しました。皆さんはどう考えます？

携帯電話、スマートフォン (6月24日朝礼での話し)

最近の携帯電話の普及には驚かされます。私が初めて携帯電話を買ったのは平成8年でした。最初は買おうか買わないでおこうかとずいぶん迷いましたが、思い切って購入しました。それが今では、ほとんどの人が持つ時代になりました。大人だけでなく、中学生や小学生でも持っている人がいます。ビックリです。中にはスマートフォンを持っている人もいます。一体いくらお金がかかるのでしょうか？私は持っていないので分かりませんが、何万円もかかるのでしょうか。便利で欲しいと思っている人は多いでしょうが、中学生や高校生が簡単に買えるものではありません。

電車に乗れば周りのことなど一切関心がないかのように、ひたすらスマホの画面を食い入るように見つめて操作している人が大勢います。街中でも同じで、歩きながらまたは自転車に乗りながら片手に携帯やスマホを持っています。危ないなと感じることも度々あります。

さて、携帯電話やスマホは大変便利ですがトラブルも多発しています。本校でもメールやスマホのラインなどでトラブルが起こっています。メールによるいじめや嫌がらせは人間関係をズタズタにします。友達だと信じていたのに人間不信になったという人もいるかも知れません。また、中には取り返しのつかない問題も発生しています。こんな例がありました。

それは悪意を持って写真を撮り、不特定多数の人にばらまくといった行為です。市内の中学校では教室にカメラを仕掛けて、女子生徒が着替えをしているところを盗撮しようとした事件がありました。幸い、早めに気がついた人がいて、事なきを得ました。他市では実際に盗撮した写真をブログに掲載した事件もあったようです。これらははっきり言って「いたずら」ではなくれっきとした「犯罪」です。一旦出回った写真は回収不可能で、被害にあった人は強烈なダメージを受けます。卑劣な犯罪です。

権利と義務、便利さと危険性

私たちは基本的人権をはじめ沢山の権利を持っていますが、それと同時に法を守る義務や納税の義務など沢山の義務や責任を負っています。そして、権利と義務が切り離すことが出来ないのと同様に、便利さと危険性も表裏一体で切り離すことが出来ません。

携帯やスマホは便利さゆえの怖さを持っています。これからの社会を生きていく皆さんは好むと好まざるとにかかわらず、これらの機器を使わざるを得ませんが、トラブルに巻き込まれる危険性があることを知っておく必要があります。もっとも、携帯やスマホに限らず自動車やバイクでも同じことかも知れません。便利ですが、事故を起こしたときは自分で責任を取らねばなりません。その為、交通ルールを守ることは勿論のこと、最悪の場合に備えて保険に入っておくわけです。

今すでに持っている人は責任が問われるものだと理解し、心して使って下さい。